

## ビジネス用途の SNS 『Dock(ドック)』 を開発

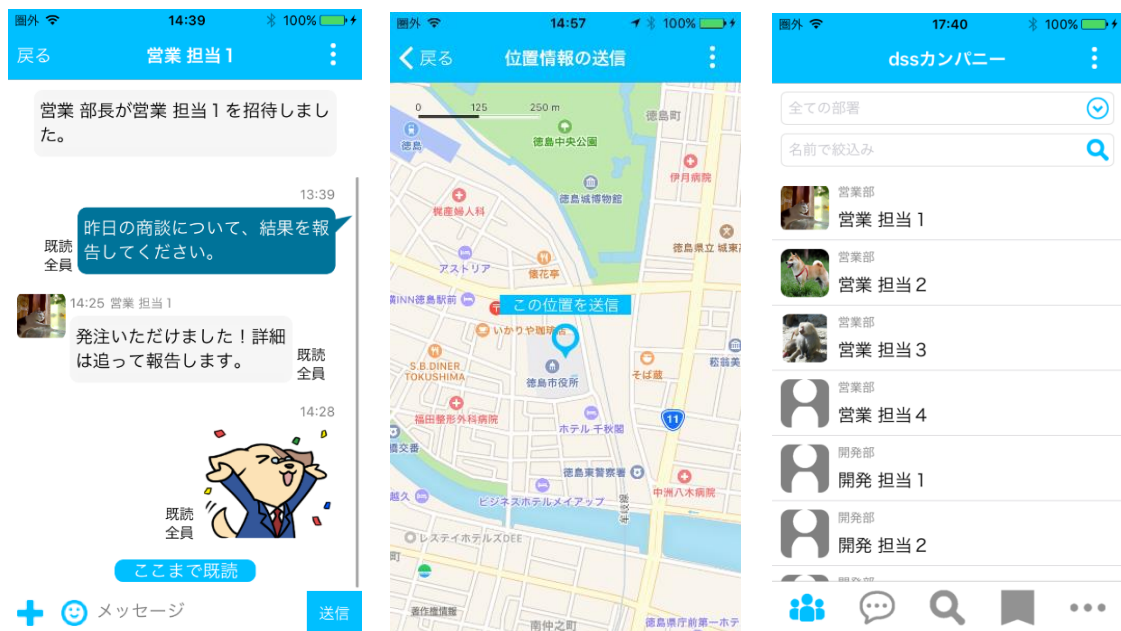
株式会社大宣システムサービス（以降、dss 所在地：大阪府大阪市中央区、代表取締役社長：大嶋芳明）のシステムソリューション本部 秋山恵二取締役は、安全かつ迅速なコミュニケーションにより業務の効率化に役立つ、ビジネス用 SNS、Dock（ドック、備考1参照）の開発を着手し、この度 iOS版から順次リリースの準備に取り掛かかりました。

これまで dss では、コミュニケーション手段としてメールを利用して来たものの、デバイスの社外利用でアクセス制限をかけていたため、ちょっとした社内メールやお知らせ、一括配信等、緊急時のコミュニケーションで制限がございました。今回開発した Dock は、一般的な SNS（例えば「LINE」）のように不特定多数をコミュニケーションの相手とするのではなく、相手を組織内の限られたメンバーに制限し、ビジネス上のコミュニケーションを安全かつ迅速に行えるよう設計しました。

過去、東日本大震災の後、PC を社外に持ち出せなかった企業が、一斉に iPhone/iPad を会社で支給したケースもありましたが、今回 dss では、社内 SNS のためにデバイスを一斉に入れ替えない方式を検討しました。結果として、dss でまだ利用されているフィーチャーフォン（いわゆる「ガラケー」）についても「メール連携機能」により、メッセージのやりとりを可能にしました。Dock は、フィーチャーフォンを利用している従業員でも、スマートフォンに一斉に切り替える必要はなく、既存の資産を有効活用できることもポイントです。

今後ですが、Dock（iOS 版）を App Store で公開後、当面社内で利用し、ある程度社内で実績が出た段階で、dss の顧客への展開を計画しております。

図1、今回発表されたDock（ドック）の画面



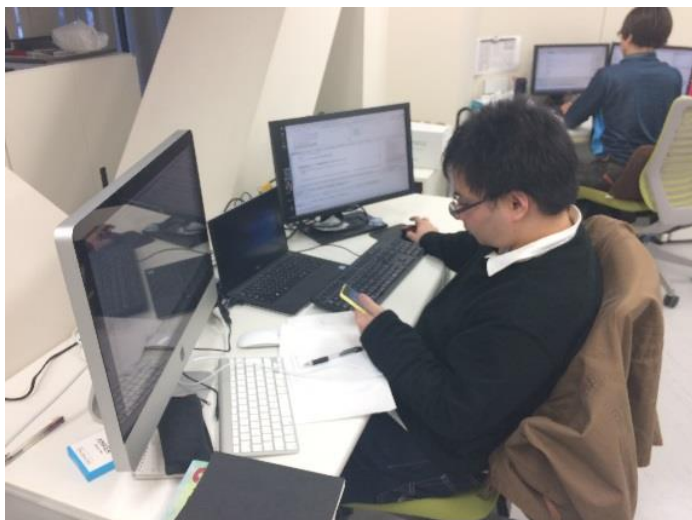
出典：dss（2017年11月）

図2、Dockで利用可能なスタンプ（一部）



出典：dss（2017年11月）

図3、徳島のシステム開発者 Dockのテスト風景



出典：dss（2017年11月）

備考1 Dock（ドック）

「Daisen-Original-Communication & Knowledge」

「会話と知識が集まる場所」というコンセプトが込められ、企業の「業務知識が集約されたナレッジ」と将来的にはDockをイメージしている